

2025 年 12 月 17 日  
一般社団法人 CC-Link 協会

## アナログ・デバイセズの産業用イーサネット TSN スイッチ IC が CC-Link 協会の CC-Link IE TSN 推奨ネットワーク配線部品試験に 合格

一般社団法人 CC-Link 協会（以下「CLPA」）が実施する「CC-Link IE TSN 推奨ネットワーク配線部品試験 スイッチ認証クラス B 及びクラス A」に、アナログ・デバイセズ（以下「ADI」）が提供する産業用イーサネット・タイム・センシティブ・ネットワーキング・スイッチ IC 「ADIN6310」および「ADIN3310」が合格し、リアルタイム通信規格 CC-Link IE TSN 対応製品として認証されました。ADI の製品が同認証を得るのはこの製品が初となります。

### スマートファクトリーの実現へ

製造の現場では、工場が大規模化、スマート化するにつれ、効率的な管理と正確な制御を行うために、あらゆる装置や機構からのデータをリアルタイムで収集し、分析を行い、迅速に制御信号を送るためのネットワークの構築が課題となっていました。

CC-Link はさまざまなメーカーのデバイス間でデータ通信を行うためのネットワーク規格として 2000 年に仕様が公開されました。これを受け、同年、CC-Link の仕様策定とグローバルな普及を図るために中立的な団体として CLPA が発足しました。

今回 ADI の製品が認証された CC-Link IE TSN は、CC-Link の産業用途向けイーサネット（IE: Industrial Ethernet）の規格で、標準的なイーサネットでは対応できなかった時刻同期を可能とする TSN（Time-Sensitive Networking）に対応しています。TSN は、生産ラインの監視データなどリアルタイムのクリティカルなデータと、非リアルタイムのデータの両方に応する単一ネットワークをサポートし、IT/OT ネットワークの統合を可能にします。これにより、遠隔地からの生産ラインの監視や複数機器間のリアルタイムの運転調整が可能となり、生産性、効率性、安全性の向上を図ることができます。

### ADIN6310/ADIN3310 について

ADI の産業用イーサネット TSN 対応ネットワーク・スイッチ IC は ADIN6310（6 ポート）および ADIN3310（3 ポート）で、搭載するイーサネット・ポートの数によって 2 製品が用意されています。複数の通信速度での運用に対応しており、今回の CC-Link IE TSN の認証は

100Mbps および 1Gbps で取得しました。TSN のコア規格には時刻同期、スケジュールトラフィック、プリエンプションなどの重要な機能が含まれていますが、ADIN6310 および ADIN3310 は、そのすべてに対応しています。システムメーカー向けには、これらのスイッチ IC と PHY、ホストプロセッサ、電源ユニットなどを組み込んだ評価ボードを提供しています。「ADIN6310」または「ADIN3310」を採用した製品を設計することで、CC-Link IE TSN に準拠したシステムを開発することが可能となります。いずれの製品ならびに評価ボードも既に量産出荷を開始しています。

CLPA では、今回の対応製品の認証をきっかけに、CC-Link IE TSN の普及が加速し、日本ならびに世界の工場のスマート化が進展することを期待しています。

#### CC-Link 協会について

CC-Link 協会は日本に本部を置き、世界 11 の地域に拠点を持ち活動しています。産業界でいち早く Time-Sensitive Networking 技術を採用した 1Gbps の Ethernet ベースの産業用ネットワーク「CC-Link IE TSN」を中心に、オープンネットワークの推進団体として、また皆さまのビジネスパートナーとして、CC-Link ファミリーのグローバルレベルの普及活動を推進しております。

#### アナログ・デバイセズについて

アナログ・デバイセズ（NASDAQ: [ADI](#)）は、物理的世界とデジタル世界の架け橋となり、インテリジェント・エッジでのブレークスルーを実現する、グローバルな半導体企業です。ADI は、アナログ、デジタル、AI、そしてソフトウェアの技術を組み合わせて、自動化とロボティクス、モビリティ、エネルギーとデータセンター、ヘルスケアの進歩に寄与し、気候変動対策に取り組むとともに、高い信頼で人と世界とを接続するソリューションを実現しています。2025 会計年度の収益が 110 億ドルを超える ADI は、現代の革新者たちに「想像を超える可能性」を提供します。詳細については <https://www.analog.com/jp> を、また [LinkedIn](#) と [X（旧 Twitter）](#) もぜひご覧ください。